

Gordon Research Conference -Germinal Stem Cell Biology- 参加報告書

氏名：島田龍輝

所属：発生工学研究室 3 年

今回遺伝学専攻の海外渡航旅費支援制度を利用して 6 月 18～23 日に香港中文大学で行われた Gordon Research Conference(GRC)-Germinal Stem Cell Biology-に参加した。Conference 中は基本的に大学キャンパス内にある宿舎に滞在することになっていた。シャワールームは共通であったが 2 人用の部屋が 1 人に割り当てられていたため、部屋ではリラックスして自分の作業に集中することができた。

今回 GRC への参加者は、アジアだけでなくイギリスをはじめとするヨーロッパ諸国や北米から多くの参加者がいるようで、生殖細胞研究の最前線に行く研究者の最近の研究成果を聞く絶好の機会であった。食事も毎日 3 食参加者が同じ会場でとることになっていた。その為研究の話やそれぞれの研究室での日常の話など、普段聞くことのできない話を多く聞くことのできるいい機会となった。この食事の時間に自分は、研究に関する議論はできるが、英語での日常会話があまりできないことを痛感した。海外からの参加者同士で話している内容はある程度理解できるが、自分から言葉を発することができず、日常会話を十分に楽しむことができなかつた。食事時には有名な研究者と若手が積極的に会話を交わしており、コミュニケーションをとるよい機会となっていた。日常会話の上達は今後海外の学会に参加する際の課題であると感じている。

多くの出席者はポスター発表を行っていた。出席者は基本的に生殖細胞に関する研究についての発表だった為、深い議論ができたと感じている。特に自分と非常に近い分野で研究を行っている研究者とは現在進めている研究について活発な意見交換を行うことができた。

自分のポスター発表では、ポスターを見に来てくれた研究者と議論を行うことで、今後どのような方針で研究を進めようか考えるいい機会になった。ただ、自分のポスターを発表するときに簡潔にまとめることができなかつたと感じた。自分のポスターを簡潔に短い時間で説明し、議論を長く行うことができるようになることも今後の課題であると考えている。

全体を通して今回の Conference は有意義な時間を過ごせた。初めての国際 Conference での参加であったが、普段から英語でのポスター発表を行っているため、

研究発表に関しては問題なかった。今後はより多くの収穫を得るために今回得た課題を意識しながら、海外の学会等に積極的に参加していきたい。



Gordon Conference の横断幕と香港中文大学内にある学生宿舎 MORNINGSIDE COLLEGE。各階に共用のトイレとシャワーがあり、建物内もきれいであった。



MORNINGSIDE COLLEGE から見える海と対岸の景色。期間中は一日中雨が降ったり止んだりし、常に湿度が高く朝は霧が出ていることも多かった。